

施策番号	3
------	---

施策評価シート（評価対象年度：令和2年度）

基本政策	1	子育て・教育・学び
施策名	3	結婚・妊娠・出産しやすい環境づくり
10年後のまちの姿	○若者が結婚・妊娠・出産の希望を叶え、市内には新しい家族や子どもが多く暮らしています。	
施策展開の基本的な考え方	行政は、結婚・家族の在り方等に関する啓発を行うとともに、結婚・妊娠・出産に関する市民の希望を叶えるサポートを行います。 市民等は、若者に対するライフデザインの学びの機会や出会いの場にもなるような空間・イベントづくりに協力します。	
実現に向けた取組	①出会いの場づくり ②結婚・妊娠・出産への意識醸成と支援 ③妊娠・出産を支える相談・医療体制の充実	
施策担当課・係	総合政策課 企画政策係、健康づくり課 子育て応援係	
施策関係課・係	こども支援課 こども支援係	

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費（千円）	10,395	8,109	3,145	3,278	
事務事業数	3	3	3	2	
うち、事務事業評価対象	2	2	2	1	

2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度 中間目標	令和8年度 最終目標
「ハートマッチにいがた」の市民登録者数	人	-	22	26	32	29		40	65
出会い等に関するイベントの市民参加者数〔年間〕	人	-	46	36	41	54		60	80
ライフデザイン講座や赤ちゃんふれあい教室等の参加者数〔年間〕	人	-	40	15	24	0		130	230
出産後助産師・保健師等からの指導を十分に受けることができたと答える人の割合〔年間〕	%	93.9	91.9	95.7	96.5	96.7		94.0	95.0
成果指標による現状分析	新発田市・聖籠町とともに定住自立圏として取り組みイベント等を増やしたことによる成果であると考えている。 子どもに関する相談窓口を一本化したことにより、妊娠期から子育て期まで保健師・助産師による継続した子育て相談を受けられる体制となった。								

3 施策の進捗状況

達成度	○ 概ね順調
評価の理由	出会いや結婚への契機となるイベントを増やしたことにより参加者数が増えた。また、助産師・保健師等専門職からの指導に対する満足度が増加しており、概ね順調と判断した。

4 取組の状況と今後の方向性

① 出会いの場づくり

施策の内容
<ul style="list-style-type: none">・県事業である「ハートマッチにいがた」を通じて、登録者の出会いをサポートします。・地域のイベントや地域スポーツクラブ等の取組と連携して、出会いの場づくりを行います。・周辺自治体等と連携して婚活イベントを開催します。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none">・「ハートマッチにいがた」について、平成29年度は市報において掲載（3回）し、市ホームページにも掲載、「たいない交流・出会いサポートメール」の登録者（77人）にメールで配信した。また、総合政策課窓口においてチラシ等を設置している。平成30年度は、市報掲載8回、「たいない交流・出会いサポートメール」の登録者数83人。令和元年度は市報掲載2回、「たいない交流・出会いサポートメール」の登録者数36人。・定住自立圏事業として、新発田市、胎内市、聖籠町が連携し行った、胎内市内を会場とした婚活イベントにおいて、平成30年度は市特産である米粉のPRとして、米粉を使ったクレープ作り体験を行った。令和元年度は胎内市自然天文館を会場として星空観望会を取り入れた企画を実施した。・定住自立圏事業として、新発田市、胎内市、聖籠町が連携し、7回の婚活イベントを開催した。また、新潟県と胎内市（共催）で、2回の婚活イベントを開催した。市内の参加者数は計47人（総参加者数429人）であった。平成30年度は、定住自立圏事業として6回の婚活イベントを開催した。市内の参加者数は計36人（総参加者189人）であった。令和元年度は8回の婚活イベントを開催した。市内の参加者数は計41人（総参加者166人）であった。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none">・定住自立圏事業で「ハートマッチにいがた」の臨時窓口を月1回イクネスしばたに開設し登録及び閲覧を可能にしたが、市民の利用実績が少ない。ニーズがないのか、周知不足なのかを分析していく。・市内団体との協働でイベントを開催できたが、既にあるイベント等の活用はまだ進んでいない。該当団体等との連携の可能性について協議を進める。・市民の申込数は増えてきたものの新規申込者はまだまだ少ないことから、労働団体に直接説明するなどの周知を行っていく。

② 結婚・妊娠・出産への意識醸成と支援

施策の内容
<ul style="list-style-type: none">・生徒・学生や未婚者を対象にライフデザイン講座等を開催して、若者が結婚・妊娠・出産を含めた将来の人生設計を前向きに考える後押しをします。・子育てや教育等に関する支援制度のPR、検診および医療費の助成等を行うことで不安感や負担感の軽減を図ります。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none">・未婚者を対象としたライフデザインセミナーを、定住自立圏事業として、新発田市、胎内市、聖籠町で連携し、6回開催した。市内の参加者数は計27人（総参加者数187人）であった。平成30年度は、ライフデザインセミナーを3回開催、市内参加者数4人（総参加者数61人）となっている。令和元年度は、ライフデザインセミナーを1回開催、市内参加者数は計12人（総参加者数97人）となっている。その他、恋愛結婚等に関する学生対象意識調査を実施した。・毎年、市内の中学生を対象に赤ちゃんふれあい教室を実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。・妊娠届出時又は子どもがいる世帯が市に転入の届出時に子育てサービス内容を記載した冊子「子育て応援ブックすくすく」を配布しPRを実施（毎年）・平成29年度には官民協働事業により作成した「子育て応援ブックすくすく」を保育園、認定こども園、小学校を通じ子どもがいる世帯に1冊配布しPRを実施。・妊婦全員に対し、妊婦一般健康診査の受診費用の助成を行い、すべての妊婦が必要な健診を受診できるよう支援している。また、妊産婦医療費助成事業を行い、妊娠出産期の医療費負担の軽減を図っている。・妊娠を望み特定不妊治療を受けた夫婦を対象に不妊治療費助成を行っている。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none">・パーティの申込みは増えてきたものの、ライフデザインセミナーや個別相談会への申込みは少ない。前年度のアンケート調査結果に基づき、令和元年度はニーズの多かった大規模ライフデザインセミナーを実施し、そのイベントのアンケート調査結果を反映していく。・子育てサービス内容を記載した冊子「子育て応援ブックすくすく」について、事業見直しや組織改正等により修正箇所が多く見当たる。・官民共同事業のため、平成30年度及び平成31年度分を作成したが、電子書籍については、修正が可能であるため修正を行うが、冊子部分については修正箇所が多いため差し替えが難しいと考える。今後平成32年度版の作成方法等について検討する必要がある。・妊娠期から子育て期までの健診費用や医療費助成を引き続き行い、安心して子どもを産み育てられるよう支援を行っていく。

③ 妊娠・出産を支える相談・医療体制の充実

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期からの切れ目のない相談しやすい関係づくりやパパママ学級の実施により、手厚い相談・支援体制を構築し、妊娠・出産に対する不安の解消や母子の健康の増進を図ります。 ・安全で安心できる妊娠・出産のため、市内および周辺の医療関係者と連携を図りながら周産期医療体制の整備に取り組みます。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ・健診や相談、家庭訪問等の母子保健事業を通じて、いつでも相談できる関係づくりを行っている。 ・周辺の産科をはじめとした医療機関と連携を図りながら、妊産婦、乳幼児について必要な支援を行っている。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度から子育て世代包括支援センターを開設し、妊娠届時の健康相談を全妊婦に行っている。それにより支援を要するケースを早期に把握することができるようになった。今後も相談体制の充実を図っていく。 ・近隣市町や産科医療機関との情報連携会議が定期的に行われており、連絡窓口が明確となっている。今後も関係機関との連携を密にし、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行っていく。

5 施策の今後の方針

施策方針	○ 維持
施策方針に関する説明	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化傾向を食い止めるための有益な取組であり、引き続きイベント等できっかけづくりを行うとともに、カップルとなった方々が結婚に至れるようアフターフォロー等を行っていく。 ・支援を要する親子や世帯に対し早期から関わるができるよう、相談対応技術や体制の維持を行い、取り組みを行う。

II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R2 事業費		R3 当初予算額		達成度	施策目標 に対する 貢献	今後の 方向性	主な事業	担当課
			うち 一般財源		うち 一般財源					
130210	ライフデザイン支援事業	353	353	367	367	○	○	③		総合政策課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和2年度事業）

事業コード	130210		担当課	総合政策課	担当係	企画政策係	担当者			
事務事業名	ライフデザイン支援事業		事業年度	令和2年度		会計区分	一般会計			
基本政策	1	子育て・教育・学び	事業コード	大	13	結婚・妊娠・出産しやすい環境づくり	予算科目	款	02	総務費
施策	3	結婚・妊娠・出産しやすい環境づくり		中	02	結婚・妊娠・出産への意識醸成と支援		項	01	総務管理費
				小	10	ライフデザイン支援事業		目	06	企画費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意			関連条例	関連計画	胎内市まち・ひと・しごと創生総合戦略		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	若者が結婚、妊娠・出産、子育てなど将来の人生設計を具体的に考える後押しをする。また、独身男女の出会いの場を創出する事業を行う。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・定住自立圏婚活支援事業（婚活イベント、個別相談会及びハートマッチにいがた臨時窓口） ・結婚記念祝品の贈呈 ・ハートマッチにいがたの紹介 ・たいない交流・出会いサポートメールの運営 ・結婚記念パネルの設置
実施方法	市が直接実施＋委託

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	○	×	◎	○	
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、予定していたイベントが中止となり開催回数が減ってしまったが、市民参加割合は目標を上回ったため、概ね達成と評価した。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

[H29]

- ・婚活イベントは結婚に結び付くことが重要である。今までは婚活イベント後の動向を把握できていない部分があったことから、市の主催・共催・後援イベントを通じて結婚し、市内に1年以上居住する見込みの夫婦への結婚記念祝品の交付を制度化することで、婚活イベントの成果等を図れるようにした。（R2に制度化後初めて、結婚記念祝品を交付）

[H30]

- ・定住自立圏事業においては、イベントのアフターフォローをすることとし、結婚に結び付くような仕組みづくりを行った。

[R1]

- ・結婚や子育て等をどのように考えているのかを把握し、今後の事業展開に繋げるため、20代前半の若者に対しニーズ調査を行った。

2 事業費の状況（※平成29年度～令和2年度は決算額、令和3年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	596	583	220	353	367	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	596	583	220	353	367	
人件費（千円）	828	827	855	796		
正(h) ※事業費	450	445	450	420		
会計年度任用(h) ※事業費	0	0	0	0		
総事業費＋人件費	1,424	1,410	1,075	1,149		
財源「その他」内訳	・定住自立圏婚活支援事業負担金306千円（新発田市へ）					
事業費の主な支出内容						
単位コスト	算出方法	経費／胎内市延べ参加者数（1,149千円／54人）				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		19.2千円	27.1千円	14.1千円	21.3千円	

6 事業の課題

- ・定住自立圏事業として実施しており、婚活イベントや個別相談会への市民申込みは一定数あるものの、事業をきっかけとして結婚に至る者が増えないことが課題として挙げられる。

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	講座・イベント等の開催数	講座・イベント等の開催数	講座・イベント等の開催数	講座・イベント等の開催数	
	目標	3回	3回	5回	21回	21回
	実績	14回	18回	26回	19回	
成果指標	名称	講座・イベント等の市民参加者数	講座・イベント等の市民参加者数	講座・イベント等の市民参加者数	講座・イベント等の市民参加割合	講座・イベント等の市民参加割合
	目標	90人	110人	50人	20%	20%
	実績	74人	52人	76人	23.9%	
	目標比	82.0%	47.3%	152.0%	119.5%	

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	②	③	
・イベント後に徴取しているアンケート調査の結果に基づき、事業の内容を適宜見直ししながら、未婚・晩婚化に歯止めをかけられるような事業を展開していく必要がある。					

8 二次評価委員会所見

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					